

別紙

温室効果ガス排出削減計画

氏名	(法人にあっては名称) 岡山県広域水道企業団		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒709-0604 岡山県岡山市東区寺山650	
本票作成	部署名：浄水課				
主たる業種	分類コード	36	業種名：水道業		
事業の概要	県下9市7町へ水道水の供給事業を行っている。				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	岡山浄水場		岡山県岡山市東区寺山650	
	②	総社浄水場		総社市井尻野504-1	
	③	賀陽第1中継ポンプ場		加賀郡吉備中央町岨谷2152-5	
	④	総社第1中継ポンプ場		総社市榎谷2657	
	⑤	山陽中継ポンプ場		赤磐市日古木523	
⑥	津山中継ポンプ場		津山市福田989-3		
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kl以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO <sub>2</sub> 換算3,000t以上 (●工場等の数                      87    所                      ●車両台数 (②該当の場合)                      台)				

計画期間	平成 27 年度                      ~                      平成 31 年度                      ( 5 箇年度)								
削減目標	いずれかを選択	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	目標削減率 1.0 %	目標区分	20%以上	20~15%	15~10%	10~5%	5%未満
		<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準							
温室効果ガス排出量	基準年度 (平成 26 年度)			目標年度 (平成 31 年度)					
	14,435 t CO <sub>2</sub>			14,036 t CO <sub>2</sub>					
基準年度の主な工場等の排出量	番号	工場等の名称		基準年度 (平成 26 年度) の排出量					
	①	岡山浄水場		6,101 t CO <sub>2</sub>					
	②	総社浄水場		1,939 t CO <sub>2</sub>					
	③	賀陽第1中継ポンプ場		992 t CO <sub>2</sub>					
	④	総社第1中継ポンプ場		944 t CO <sub>2</sub>					
	⑤	山陽中継ポンプ場		918 t CO <sub>2</sub>					
⑥	津山中継ポンプ場		571 t CO <sub>2</sub>						

※ 「計画期間」欄には、5箇年度以内で特定事業者が定める期間を記入する。

(原単位基準の削減目標を選択した場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 企業団から構成団体への年間給水量	原単位当たり排出量	
		基準年度	目標年度
		421 t CO <sub>2</sub> / ( 百万m <sup>3</sup> )	417 t CO <sub>2</sub> / ( 百万m <sup>3</sup> )

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値 (平成 26 年度)	達成率 (%)
指標の状況				

【目標削減率設定の基本的な考え方】

・設備更新 (岡山浄水場他17箇所の電気計装設備) 等によるエネルギー効率の向上などにより、温室効果ガス排出削減に取り組む。

**【目標削減率達成のための推進体制】**

- ・省エネ法に基づくエネルギー管理統括者を中心としたエネルギー管理体制を整備
- ・各課所長が委員として組織する省エネ推進会議の開催と電気計装設備の更新にあわせた省エネ設備の検討
- ・各事業所の省エネ推進者による各施設の省エネルギー活動の推進及び課所員の意識向上

**【排出量削減のためのこれまでの主な取組】**

工場等の名称	取組内容
<ul style="list-style-type: none"> <li>・岡山浄水場</li> <li>・総社浄水場</li> <li>・賀陽第1中継ポンプ場等</li> <li>・岡山浄水場</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夜間電力の使用</li> <li>・夜間電力の使用</li> <li>・夜間電力の使用</li> <li>・H23年度 事務所のワンフロア化</li> <li>・H24年度 薬品注入設備の改修時に使用電力の少ないシステムを導入(CO2削減量145t/年)</li> <li>・H25年度 コンプレッサーの一部集約化</li> <li>・H26年度 屋外灯の一部LED化(17CO2トン/年)</li> </ul>

**【計画期間中に目標削減率を達成するために実施する措置】**

工場等の名称	措置内容
岡山浄水場他17箇所	電気計装設備の更新

**【森林保全等吸収源対策への取組計画】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【再生可能エネルギーの導入計画】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【その他特記事項】**

- ・冷暖房設備の使用電力低減のため、クールビズ・ウォームビズ運動に取り組んでいる。
  - ・昼間休憩時間の照明OFF
- (排出量・目標値についての説明)
- ・新設時から高効率の機器(変圧器、電動機等)、インバータを導入しており、省エネ診断を行っても大きく改善出来る箇所がなかった。
  - ・生産量が増加した場合、排出量は比例して増加する。生産量は、今後5年のうち減少する見込みがないため、排出量も下がらない見通しである。
  - ・目標年度の温室効果ガスの排出量は、基準年度と同じ生産量として算出した。